

やまがた認知症カフェ通信 2026 7月号

令和8年7月 15 日発行 発行元／山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ

～チームオレンジに参加してみませんか～

チームオレンジとは、認知症と思われる初期の段階から、心理面・生活面の支援として、市町村がコーディネーターを配置し、地域において把握した認知症の人の悩みや家族の身近な生活支援ニーズ等と認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ仕組みのことです。近隣の認知症サポーターがチームを組み、外出支援、見守り・声かけ、話し相手、認知症の人の居宅への出前支援等様々な活動を行い、認知症の人もメンバーとして参加することが特徴の一つです。

山形県では令和11年度までに「チームオレンジ」を県内全市町村に設置することを目標に掲げており、チームオレンジに関する研修会の開催等を通して、市町村の取組みを支援しています。各地で整備が進んでいるチームオレンジですが、新たに立ち上げる際には、中心となるメンバーに、市町村が実施する「ステップアップ講座」を受講していただく必要があります。

また、各市町村にはチームオレンジの整備を推進していくための中核的な役割を担い、立ち上げの支援や運営に関する助言等を行う「チームオレンジコーディネーター」が配置されておりますので、チームオレンジにご興味がある方は是非一度、市町村の認知症施策担当課にお問合せください。

(県高齢者支援課)



さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

～さくらんぼカフェでの相談員の思い～

1 はじめに

私は、さくらんぼカフェで相談員として勤務するまで介護施設で作業療法士として働いてきました。施設では、認知症の方のリハビリテーションを通して、その人の「できること」や「やりたいこと」に目を向ける大切さを学びました。さくらんぼカフェでの1年を通して、本人や家族が抱える不安や悩みをお聞きする中で、身近に相談できる場所の必要性を改めて感じています。

2 普段いただく相談から

「親が認知症かもしれない、病院に行った方が良さだろうか。」といった相談がありますが、ご家族の早期の気づきが重要だと感じます。また、「物忘れなどが出た場合に寄り添う対応を続けているが、疲れてしまうこともある。」といったものや、「他の兄弟が遠方で介護者が自分しかいなく相談できる人がいない。」といった、普段抱えている思いや悩みを聞いてほしいというご相談もあり、丁寧にお話をお聞きしています。

3 最後に

さくらんぼカフェは、認知症についての様々な悩みや思いを話せる場、気軽に集い交流できる場になることを目指しています。また、前回も紹介させていただいたボッチャやモルックも活用し、認知症の人や家族、地域の人たちなどで楽しみながら「できること」、「やりたいこと」を深めていけたらと思います。

(大瀧)



認知症になっても安心して暮らせる村づくり

「おはよさーん！ちゃんとご飯食って来たがー？」「〇〇のかあちゃん、今日も素敵だごどー！」村内のサロンには、今日も賑やかな声が響きます。大蔵村では、認知症になってもできる限り住み慣れた村の中で自分らしく生活できるよう、地域の身近な場所で早期から適切な支援につなげることを目的に、4月1日より各地区サロン代表者を中心メンバーとして「チームオレンジおくら」を立ち上げました。主に認知症の人やその家族の通い場の提供、見守り・声掛け、話し相手や相談役となり、生活面での身近な困りごとを把握し、支援とのマッチングなどの活動を始めていただいています。

その中で「ぜひサロンの参加者にも正しい認知症の知識を知ってもらいたい」との要望があり、6月12日、大蔵村合海地区サロン「愛kai」にて「認知症サポーター養成講座」を開催しました。16名に参加いただき、参加者からは「物忘れとの違い、早期発見・早期治療の大切さを学んだ。」「誰でもなる可能性がある。自分が将来徘徊するようになったら優しく家に送り届けてほしい。」といった言葉が聞かれました。また会の後半では、現在進行形で親の介護を行う参加者の日々の戸惑いや素直な気持ちを他の参加者がねぎらい、互いに励ましあうピアサポートの場面も自然とみられ、とても有意義な時間となりました。

認知症があっても、お互いを認め合い、助け合いながらともに泣いて笑って生きていける村づくりを目指して、地域と手をつなぎ、これからもともに歩み続けていきたいと思っています。



(大蔵村地域包括支援センター 植木美緒)

インフォメーション

ホットな話題をお届けします！

6月6日 認知症カフェ「土曜の午後のちえでってカフェ」OPEN！

この度、おれんじサポートチームこころ主催の認知症カフェを立ち上げました。当日は35名の方にご参加いただきありがとうございました。主催者側としてとても嬉しく思っております。和やかな雰囲気の中でのカフェタイム。初対面の方同士も自然と会話が弾んでいました。ミニ講話は「おれんじサポートチームは何をしているところなの？」というテーマで進めました。

認知症サポーターさんや参加者の方に受付や飲み物の準備、配膳などのお手伝いをしていただき、地域の支え合いを感じる場になりました。お子さんの参加もあり、世代を超えた交流が生まれたことが大変印象的でした。



わたしたちが目指す「認知症カフェ」は、だれでも参加できる場所です。

認知症の理解を深め、認知症になっても暮らしやすい地域を作るための拠点です。



認知症カフェ「土曜の午後のちえでってカフェ」は毎月第1土曜日の14:00から

大島医院4階ホールで開催しています。お気軽に参加してください。お待ちしております。

(山崎)



発行元：山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ やまがた認知症コールセンター(山形市 県小白川庁舎内)

電話・来所相談・カフェオープン 月曜～金曜日 昼12時～午後4時

TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 E-mail kazokunokai@camel.plala.or.jp

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。